

プログラム

第1日目：12月17日(木)

11:30～11:35 開会挨拶

鳥村拓司（久留米大学医学部内科学講座消化器内科部門）

11:35～12:35 ランチョンセミナー1

「C型肝炎撲滅を目指して ～SVR後肝癌に関連する宿主因子の同定」

演者：田中靖人（熊本大学大学院生命科学研究部 消化器内科学）

座長：鳥村拓司（久留米大学医学部 内科学講座消化器内科部門）

共催：ギリアド・サイエンシズ株式会社

12:50～13:50 セッション1【線維化1】

座長：山科俊平（順天堂大学医学部 消化器内科）

コメンテーター：稲垣 豊（東海大学大学院医学研究科マトリックス医学生物学センター）

1. TGF β 3はALK5とALK1経路を介して肝線維化を調整する

○阿部寛幸¹⁾、Yong Ook Kim²⁾、Detlef Schuppan²⁾、寺井崇二¹⁾

新潟大学大学院医歯学総合研究科 消化器内科学分野¹⁾

ヨハネスグーテンベルク大学 トランスレーショナル免疫学研究所²⁾

2. Recombinant human Cytoglobin scavenging ROS and inducing Interferon-Beta mediated hepatic stellate cells activation and liver fibrosis

○Vu Ngoc Hieu¹⁾、Ninh Quoc Dat¹⁾、Le Thi Thanh Thuy¹⁾、Hoang Hai¹⁾、
Dinh Viet Hoang¹⁾、Katsutoshi Yoishizato²⁾、Norifumi Kawada¹⁾

Department of Hepatology, Graduate School of Medicine, Osaka City University¹⁾

Academic Advisor's Office, PhoenixBio Co.Ltd., Hiroshima, Japan²⁾

3. 肝硬変ラットモデルを用いたMMP13遺伝子導入による肝線維化改善効果の検証

○横尾 健¹⁾、阿部寛幸²⁾、上村顕也²⁾、杉田萌乃²⁾、柴田 理²⁾、寺井崇二²⁾

新潟大学 医学部 健康寿命延伸・消化器疾患先制医学講座¹⁾

新潟大学 大学院医歯学総合研究科 消化器内科学分野²⁾

4. レンバチニブは肝星細胞の活性化および類洞毛細血管化を抑制する

○小川裕之、鍛治孝祐、西村典久、吉治仁志

奈良県立医科大学 消化器内科学講座

13:50~14:35 セッション2【肝癌1】

座長：飯島尋子（兵庫医科大学消化器内科）

コメンテーター：寺井崇二（新潟大学大学院医歯学総合研究科消化器内科学分野）

5. 老化星細胞に由来する細胞外分泌顆粒が肝癌細胞株増殖能に与える影響

○三馬 聡、宮明寿光、中尾一彦

長崎大学病院消化器内科

6. 高コレステロール血症が Kupffer 細胞に与える影響

○三浦光一、前田浩史

自治医科大学消化器内科

7. 肝星細胞の GDF15 を介した肝癌増殖促進機構

○疋田隼人、明神悠太、竹原徹郎

大阪大学大学院医学系研究科 消化器内科学

14:50~15:50 スイーツセミナー

「基礎と臨床から紐解くレンバチニブの可能性」

演者：岩本英希（久留米大学内科学講座消化器内科部門／医療法人 岩本内科医院 理事長）

座長：古賀浩徳（久留米大学医学部内科学講座 消化器先端医療研究部門）

共催：エーザイ株式会社

16:00~17:00 セッション3【肝癌2】

座長：疋田隼人（大阪大学大学院医学研究科 消化器内科学）

コメンテーター：松浦知和（東京慈恵会医科大学臨床検査医学講座）

8. TGF- β 活性化抗 LAP 抗体による NASH モデルマウスの肝がん・転移促進機構の解析

○古谷 裕¹⁾、松浦知和^{1,2)}

理化学研究所 開拓研究本部 肝がん予防研究ユニット¹⁾

東京慈恵会医科大学 臨床検査医学講座²⁾

9. Intracellular gap formation of the liver sinusoidal endothelial cells facilitates the liver metastasis ability of cancer cell

○TRUONG HUU HOANG¹⁾、Misako Sato-Matsubara^{1,2)}、Yuasa Hideto³⁾、
Tsutomu Matsubara³⁾、Hayato Urushima³⁾、Le Thi Thanh Thuy¹⁾、Atsuko Daikoku¹⁾、
Yoshinori Okina¹⁾、Katsutoshi Yoshizato²⁾、Norifumi Kawada¹⁾

Department of Hepatology, Osaka City University¹⁾

Endowed Laboratory of Synthetic Biology²⁾

Department of Anatomy and Regenerative Biology, Osaka City University Graduate School of Medicine, Japan³⁾

10. 肝細胞癌における癌血管特異的 micro RNA を利用した血管新生抑制治療

○岩本英希、鈴木浩之、阪上尊彦、今村恭子、早川政子、中村 徹、増田篤高、田中俊光、
古賀浩徳、鳥村拓司

久留米大学医学部内科学講座消化器内科

11. HCC に対する分子標的治療が腫瘍免疫微小環境に与える影響の検討

○鈴木浩之、岩本英希、中村 徹、増田篤高、阪上尊彦、田中俊光、今村恭子、早川政子、
古賀浩徳、鳥村拓司

久留米大学医学部内科学講座消化器内科

17:00~18:00 特別講演

「腫瘍血管の特徴とその制御」

演者：高倉伸幸（大阪大学微生物病研究所 情報伝達分野）

座長：鳥村拓司（久留米大学医学部内科学講座 消化器内科部門）

第2日目：12月18日(金)

7:30~8:20

世話人幹事会

中止

8:20~9:20

モーニングセミナー

「これからの肝細胞癌治療と腫瘍免疫」

演者：日野啓輔（川崎医科大学 肝胆膵内科学）

座長：飯島尋子（兵庫医科大学 消化器内科学）

共催：中外製薬株式会社

9:30~10:00

セッション4【星細胞1】

座長：大平弘正（福島県立医科大学消化器内科）

コメンテーター：池田一雄（大阪市立大学大学院医学研究科 機能細胞形態学）

12. アザールテミシニンによる肝星細胞の活性化抑制評価

○金子信人¹⁾、姫野美沙緒²⁾、高橋紀人¹⁾、Bonepally Karunakar Reddy¹⁾、堀 優太郎²⁾、
宮島 篤²⁾、大栗博毅^{1,3)}、木戸丈友²⁾

東京農工大学院工¹⁾

東京大学 定量生命科学研究所²⁾

東京大学 理学系研究科³⁾

13. AHCC[®]に含まれる肝星細胞活性化抑制能を有する新規活性成分の探索

○高山実紗子¹⁾、宇留島隼人¹⁾、湯浅秀人¹⁾、松原 勤¹⁾、岡田芳治²⁾、池谷幸信³⁾、
池田一雄¹⁾

大阪市立大学大学院 医学研究科 機能細胞形態学¹⁾

近畿大学工学部化学生命工学科 機能有機化学研究室²⁾

第一薬科大学 薬学教育センター³⁾

10:00~10:45

セッション5【星細胞2】

座長：三浦光一（自治医科大学 消化器内科）

コメンテーター：宮島 篤（東京大学定量生命科学研究所）

14. 長期間スフェロイド形成によるヒト肝星細胞の活性化の抑制

○石田誠一^{1,2)}、黒田幸恵²⁾、堀内新一郎²⁾、相星里葉¹⁾、浦田恵利那¹⁾、佐藤由樹子¹⁾、
陳野莉子¹⁾、古水雄志¹⁾、松下 涿¹⁾

崇城大学 生物生命学部、国立医薬品食品衛生研究所¹⁾

国立医薬品食品衛生研究所²⁾

15. 肝星細胞の培養条件下における静止型形態の維持について

○湯浅秀人、宇留島隼人、高山実紗子、松原 勤、池田一雄

大阪市立大学医学研究科・機能細胞形態学

16. 肝細胞との接着結合による肝星細胞活性抑制と肝機能単位 Stellon の再認識

○宇留島隼人¹⁾、湯浅秀人¹⁾、松原 勤¹⁾、井上孝二²⁾、和氣健二郎^{1,3,4)}、佐藤哲二³⁾、池田一雄¹⁾

大阪市立大学大学院医学研究科機能細胞形態学講座¹⁾

鶴見大学歯学部中央研究施設電顕センター²⁾

鶴見大学歯学部解剖・組織細胞学講座³⁾

株式会社ミノファーゲン製薬⁴⁾

10:45~11:15 セッション6【線維化2】

座長：上野隆登（朝倉医師会病院）

コメンテーター：池嶋健一（順天堂大学 消化器内科）

17. NASH モデルマウスにおける培養 CD34陽性細胞移植療法の抗線維化作用の検討

○増田篤高¹⁾、中村 徹^{1,2)}、岩本英希^{1,2)}、鈴木浩之^{1,2)}、阪上尊彦^{1,2)}、田中俊光^{1,2)}、古賀浩徳^{1,2)}、鳥村拓司^{1,2)}

久留米大学医学部内科学講座消化器内科¹⁾

先端癌治療研究センター²⁾

18. 加齢による脂質代謝 / 脂質組成の変化を介した脂肪肝炎の増悪機序

○石塚 敬、今 一義、内山 明、深田浩大、山科俊平、池嶋健一

順天堂大学医学部消化器内科

11:25~12:25 鼎談

「類洞壁細胞研究の今日までの道のりー王道もあれば寄り道もある」

演者：野口和典（地方独立行政法人 大牟田市立病院） 「肝類洞壁細胞研究の曙」に携わって」

河田則文（大阪市立大学 大学院医学研究科・医学部医学科 肝胆膵病態内科学）

有井滋樹（地方独立行政法人 神戸市民病院機構 神戸市立医療センター西市民病院）

座長：市田隆文（湘南東部クリニック 肝臓病センター）

12:40~13:40 ランチョンセミナー2

「C型肝炎の最新治療 ～現状と問題点～」

演者：持田 智（埼玉医科大学 消化器内科・肝臓内科）

座長：中尾一彦（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 展開医療科学講座 消化器内科学分野）

共催：アッヴィ合同会社

13:50~14:35 セッション7【エクソソーム】

座長：松原三佐子（大阪市立大学大学院医学研究科 肝胆膵病態内科）

コメンテーター：日野啓輔（川崎医科大学 肝胆膵内科）

19. 難治性肝疾患に対するエクソソーム医療の創生に向けた技術開発

○松木勇樹、柳川享世、住吉秀明、稲垣 豊

東海大学大学院 マトリックス医学生物学センター／同 医学部 先端医療科学

20. 骨髄間葉系幹細胞は miR-6769b-5p の発現調節により線維溶解マクロファージを誘導する

○高見太郎¹⁾、仁志麻衣子¹⁾、松本俊彦^{1,2)}、藤澤浩一¹⁾、山本直樹¹⁾、坂井田 功¹⁾

山口大学大学院医学系研究科 消化器内科学¹⁾

山口大学大学院医学系研究科 臨床検査・腫瘍学²⁾

21. エクソソーム内包肝再生促進因子 OGFRL1発現の臨床的意義

○柳川享世^{1,2)}、岡崎 勲³⁾、松木勇樹^{1,2)}、住吉秀明^{1,2)}、稲垣 豊^{1,2)}

東海大学大学院医学研究科 マトリックス医学生物学センター¹⁾

東海大学医学部 基盤診療学系 先端医療科学²⁾

東日本福祉大学³⁾

14:35~14:50 総会

14:50~15:00 閉会挨拶

鳥村拓司（久留米大学医学部内科学講座消化器内科部門）